

慣用句

①

名前

「慣用句」とは、いくつかの言葉が組み合わさって、新しい意味をもつようになった決まり文句のことです。慣用句には、「□」がすべる「や」「目を丸くする」のように体の一部を使ったものが少なくありません。



次の①③には、それぞれ同じ漢字が入ります。次の言葉が慣用句になるように、□に漢字一文字を書きましよう。また、その意味としてふさわしいものをから選んで( )に記号で書きましよう。

例

頭

■ をひねる … ( )  
■ を冷やす … ( )  
■ がかたい … ( )

ア がんばって自由な考え方ができないこと  
イ あれこれとよく考えること  
ウ こうふんしていた気持ちをおち着かせること

①

鼻

■ が高い … ( )  
■ につく … ( )  
■ を折る … ( )

ア 何度も同じことで、いやになること  
イ じまんをしている人の気持ちを、くじけさせること  
ウ すぐれていることを得意そうにすること

②

耳

■ が早い … ( )  
■ をかす … ( )  
■ に残る … ( )

ア 話し声や音が心に残ってわすれられないこと  
イ 人の話をじっくりと聞くこと  
ウ うわさやニュースを知るのが早いこと

③

顔

■ が広い … ( )  
■ が売れる … ( )  
■ をくもらせる … ( )

ア 有名になりみんなに顔を知られること  
イ 知りあいがたくさんいること  
ウ 心配や悲しみなどで、顔つきが暗くなること

慣用句 ②

名前

● 次の①～③が慣用句になるように、にあてはまる言葉を、あとの  
から選んで書きましよう。また、その意味としてふさわしいものを  
 選んで下と——でつなぎましよう。

(1) ① いばらの  **道**

苦しいことや、つらいことが多い  
 生活や人生のたとえ

②  **からす**  
 の行水

人のきげんをとって、気に入られようと  
 すること

③  **ごま**  
 をする

おふろに入っている時間が短いことのたとえ

・からす  
 ・道  
 ・ごま



(2) ①  **油**  
 をしぼる

多くの意見をおさえこむ力をもった  
 人のひと言

②  **さば**  
 を読む

都合のいいように数をごまかすこと

③  **つる**  
 の一声

なまけたことや失敗した者をうんと  
 こらしめること



・さば  
 ・つる  
 ・油

